



NTO(世界ナショナル・トラスト機構)世界大会の記念撮影 (ケンブリッジ)

明けましておめでとう

ございます。

新しいカレンダー、新しい手帳・・あたらしいページに書き込むのは気持ちがいいですね。

アメニティ 2000 協会もこの新しい年にどう歩んでいくのか、一緒に進めていきましょう！

お知らせ

- #新年会 (関西) 1月11日 (月・祝) 草志舎
- #新年会 (関東) 1月23日 (土) 浜離宮恩賜公園
- #六甲山荘冬の作業 2月1日 (月)
- #下期セミナー 2月13日 (土) 高島市針江地区
- #六甲山荘冬の作業 2月29日 (月)
- #下期セミナー 3月12日 (土) 聴竹居

【コラム】

ナショナル・トラストの可能性

清水 彬久

2015年度は創立15周年を迎えたため、その記念事業を行いました。昨年の春・秋のヴォーリズ六甲山荘の特別公開、7月は神戸女学院での記念講演会、11月にはカトリック夙川教会でのアンサンブル・アメニティの記念コンサートが、皆様の多大なるご協力で素晴らしい行事になりました。ここにお礼を申し上げます。

いまひとつご報告しておきたいのは、9月に英国ケンブリッジで開催されました国際ナショナルトラスト機構 (INTO) 世界大会に、初めて参加したことでもあります。そして、当協会は、日本で唯一の加盟団体ですから、日本代表という意気込みで臨みました。世界各国から200名以上が集結し大変活発な大会でした。発祥の地である英国を筆頭にヨーロッパ、北米、南米、アフリカ、そしてアジアからは、韓国、台湾、中国、インドネシア、インド、オーストラリア等主だった国が参加していました。その会期中に感じたことは、会議はいつも伯仲した議論が続き、極めて熱心だということです。各国各団体の活動は実に活発ですし、若手実務家も多く積極的な役割を果たしているのが印象的でした。私どもも初参加で弱小団体ながら、何か存在感を示すために秘策を検討。嬉しいことに学生会員2名が参加してくれることから、人材育成をテーマにトラスト・ユース・センターのプロパガンダをすることにしました。その切り口が的中して、各国団体のトップに交じって、全体会議の中で二人が登場することになるのです。山本真紗子さんは、博士論文のテーマである「ナショナル・トラスト運動」を、イスタム・ハナさんは、日本滞在中の体験を中心に「日英の文化交流」を堂々と発表しました。二人には、その後多くの聴衆から好感の意見が寄せられ、そこには新しい国際交流の芽が生まれた感を抱きました。また、プログラムの中で強く印象に残ったプロパティの見学がありました。1899年に三番目のプロパティとして取得したウィッケン湿原です。ロンドンの北東にある何の変哲もない大湿原なのですが、ここが昆虫の宝庫で、この取得は自然科学者から評価され、専門家がナショナル・トラストに目を向ける切っ掛けになった所です。驚いたことに、更に広大な周縁の土地を買い取り、保護地区を拡大させています。そこに立ち、持続する哲学の確かさを覚えました。これこそ当協会が学ぶべきナショナル・トラストの精神だと実感したのです。この体験を生かしINTOの関係団体との連携を深め、また当協会の在り方に活かしていきたいと思えます。次回の世界大会は来年インドネシアで開催されます。皆さんも是非参加してください。

私たちの活動が、「ナショナル・トラスト」という原点とどのように向かい合っていくかで、これから輝いていけるかどうかの可能性が掛かっているように思います。新年を迎えて、その想いを新たにしているところです。今年もよろしくお祈りします。

ヨーロッパ・ナショナル・トラストの旅 イタリア編～文化遺産と芸術をめぐる

アメニティ 2000 協会ではこれまで 7 回にわたってナショナル・トラストの本場英国を訪問しましたが、2016 年はヨーロッパ、イタリアのナショナル・トラストと芸術を味わう旅を企画しました。

イタリアは歴史と芸術の国で、世界遺産もたくさんありますが、ナショナル・トラスト活動もさかんです。中世の街並みや近代の建築などを保存・運営しています。今回はそうしたプロパティとイタリアのほこる文化遺産を訪ねる旅です。あなたも一緒にいかがですか。

旅行期間 2016 年 6 月 27 日 (月) ～7 月 5 日 (火)
募集人員 25 名 (定員になり次第締切らせていただきます)
最小催行人員 15 名
費用 会員 398,000 円 (一般は 10,000 円プラス)
別途 空港税、オイルサーチャージ等の費用が必要です
詳しくは同封の案内チラシをごらんください。



Villa del Balbianello (NT)

下期セミナーのご案内

*2 月 13 日 (土) 針江～生水の郷 (滋賀県高島市)

針江は琵琶湖の湖北にある小さな町ですが、清らかな湧水を生活にとりこんだ暮らしぶりがマスコミにもとりあげられ注目を集めています。自然と一体となって生きる生活ぶりを見せていただきましょう。

集合 13 時 針江公民館前 (最寄駅 JR 湖西線新旭駅)
参加費 会員 1500 円 一般 2000 円 (前期セミナー前納者 1000 円)
定員 25 名



*3 月 12 日 (土) 聴竹居 (京都府乙訓郡大山崎)

聴竹居は日本の風土にあった住宅を追求した建築家藤井厚二が建てた自邸です。近代住宅建築の名作と評価を得ています。大山崎の緑のなかに建つ「理想の住宅」を見学しましょう。

集合 JR 東海道線山崎駅改札口 12 時 45 分
参加費 会員 1500 円 一般 2000 円 (前期セミナー前納者 1000 円)
定員 40 名



詳しくは同封の案内チラシをごらんください。

ご報告 畑儀文の合唱教室 11 月 16 日 (月) 12 月 14 日 (月) 草志舎

11 月は夙川でのコンサートの話でもりあがり、12 月はクリスマスの歌を練習・・・あっという間に時がたっていきます。歌とはいいものですね。

ご報告 アンサンブル・アメニティコンサート 11 月 23 日 (日) カトリック夙川教会

大成功のコンサートでした！アンサンブル・アメニティの演奏はもちろんすばらしく、4 人の持ち味が活かされて、石造りの聖堂の音響効果とあいまって、みごとなアンサンブルでした。会員の皆様のご協力のおかげでチケット販売数 246 枚、当日来場者 230 名という盛況で、用意したプログラムが足りなくなるほどでした。企画・実行に活躍して下さった実行委員の皆さん、おつかれさまでした！



参加記 <創立 15 周年・認定 NPO 認証記念> アンサンブル・アメニティ・コンサート企画・実行に携わって

中石 貴子

秋がようやく深まってきた 11 月 23 日、標題のコンサートがカトリック夙川教会で開催されました。記念事業となる今回は、企画・実行を畑先生の合唱教室のメンバー有志が担当することになり、テーマを毎回練習の最初と最後に歌っているヴォーリズの讃美歌“HEIWA”からいただくことにしました。打ち合わせを重ね、メンバーそれぞれが出し合った案が一つ一つ形になっていくのを実感しながら準備を進め、当日は 200 名を超えるお客様を教会の大聖堂にお迎えすることができました。

コンサートはその“HEIWA”で幕開けです。ヴォーリスがこの讃美歌を作ったのは来日から3年後の1908年、その翌年には同志社大学のレッジソングを作詞しています。当時の日本は日露戦争の影響が色濃く残っており、また、ヨーロッパでも軍需拡張の流れがあって、世界が平和の方向ではなく対立、紛争の方向に流れているのではないかという強い警戒心を持ったヴォーリスは、とにかく平和を願う気持ちから“HEIWA”と題する作詞をしました。折しもコンサートの直前には世界各地で同時多発テロなどの不穏な動きがあり、改めてヴォーリスの強い願いに思いを寄せることになりました。

プログラムは4人のメンバーそれぞれの持ち味が発揮された盛り沢山の内容で進み、アンサンブルが教会の素晴らしい響きと相まって深く心に染み入るものになり、最後は4人の可愛いプレゼンターによる花束贈呈で和やかな雰囲気にも包まれ終了しました。

今回、“HEIWA=平和”という重い言葉がテーマとなりましたが、皆さんがひとつ所に集い、音楽を楽しめる喜びを味わい、またヴォーリスの業績とアメニティ2000協会が15年歩んできた活動の意義を思い直すことができた記念の行事になったと思います。

(ヴォーリスのHEIWAに関する記載は、同志社大学キリスト教文化センター講演録「レッジソング作詞者W. M. ヴォーリスと同志社」から引用しました)



ご報告 六甲山荘大掃除&暖炉とワインを楽しむ会 11月28日(土)

今回は三井住友信託銀行神戸支店から若いボランティアが11名参加してくれました。こちらのメンバーをいれて19名という戦力で、屋根の上から道路から、庭中の落ち葉を掃除しました。館内では床も壁も拭き掃除をしてピカピカになりました。お昼ごはんは石窯ピザを焼き、落ち葉のたき火で野菜をホイル焼きにいただきました。おいしかったですよ！



参加記 ヴォーリス六甲山荘大掃除参加記

坂下 正樹

先日、私はヴォーリス六甲山荘の清掃、冬支度のお手伝いに参加させていただきました。山荘は、個人の別荘として設計され、国登録有形文化財等に登録されている建物です。当日は非常に気持ちのいい天気でした。活動の目的はもちろん清掃でしたが、山荘の石窯でピザを焼き、ワインを飲むのが清掃後の楽しみでした。

我々男性陣は屋外の清掃を担当し、山荘周囲の落ち葉の処分と石窯の準備が並行して進められました。石窯でピザが焼ける温度になるまでは2時間ほどかかります。その間、火を絶やさぬように、枝を折っては火にくべ続けなければならず、ピザを焼くためのもっとも責任の重い仕事だったかもしれません。山荘の周囲に降り積もった落ち葉は膨大な量で、集めては燃やす作業を数時間繰り返しました。屋根の上の落ち葉を落とすために私は恐れ多くも文化財に上るといふ貴重な経験をさせていただき、清掃後は待ち焦がれた食事の時間。ピザが焼けるのを待ち、ワインで乾杯しました。ピザ以外にもグラタン、カレー、ハンバーグなど、食べきれないほどの料理をふるまっていただきました。食後にはケーキとコーヒーまでいただき、帰りにお土産のピザも持たせていただきました。心地の良い秋晴れの中、普段は体験できない素敵な時間を過ごすことができました。また、冬が終わったころにお手伝いに行かせていただけたらと思います。
(筆者は三井住友信託銀行神戸支店から参加のボランティア)



ご報告 下期セミナー 綿業会館 12月12日(土)

綿業会館のすばらしさはまず建物。外観は地味におさえて、内部は部屋ごとに意匠をかえながら華やかでしかも品格があります。様式建築の名手といわれた渡邊節ならではの名作です。そしてもう一つのすばらしさはこの名建築が大阪の人々に大切に守られてきたことです。たとえば大きな絨毯もクリーニングをして緑だけをとりかえて使いつづけているとのこと。そのあとオプションで訪ねた大丸百貨店は建て替えが決定していて、対照的な取り組みに心うたれたひと時でした。大丸については青井弘之さんが熱心な解説をしてくださり、このすばらしい建築空間が失われるのがいっそう残念に思われました。外装など一部が残されるとのこと、少しでも貴重なヴォーリス建築が受け継がれることを望みます。



トラストユース・センター第IV期生募集

次の世代をになう若い人材を育てようというトラストユース・センターの第IV期生を募集します。2015年度は2014年度につづき田中翔さん、ハナ・イスタムさんが在籍して、とくに海外で活躍しています。また山本真紗子さんが加入され、INTOの世界大会でハナさんと二人で発表するという快挙もありました。彼らに続く学生を求めています。このアメニティ便りに募集要項を同封しておりますので、お知り合いの若人に声をかけていただけませんか。もっと枚数が必要でしたらお送りいたします。 **若い人たちのエネルギーをぜひ当協会に！！**

新年会

今年も新年会を関西と関東の2か所でひらきます。日頃ゆっくり話ができない会員どうし、楽しいおしゃべりをしてすごしましょう。

- ・関西 1月11日(月・祝) 12時～ 草志舎にて
- ・関東 1月23日(土) 浜離宮恩賜公園

関東の新年会については同封の案内チラシをご覧ください。関西については案内を11月号でお送りしております。

2015年東京新年会



◇◆◇おしゃべリアラカルト◇◆◇

紅葉の軽井沢

幸田 明子

10月17日(土)東京から1時間20分、軽井沢到着。雨も上がり「赤や黄色の色様々」のもみじを楽しみながら旧三笠ホテル(1980年重要文化財指定)へ。軽井沢ナショナルトラストの浅井氏が案内してくださる。ホテルは設計・施工共日本人による純西洋式木造ホテル。こげ茶色の外壁に太い白で縁どられた窓が美しい。近衛文麿、澁澤栄一、大隈重信など文化人、政財界人が多く宿泊したことから「軽井沢の鹿鳴館」と呼ばれた由。近くの深山荘(スイス公使館疎開別荘)を巡りカラマツの並木を歩く。落葉が煌めく黄金の針のように降り注ぐのももうすぐ…これも秋の美しさ。

ここからはヴォーリス建築を訪ねて歩く。片岡邸(2008年登録有形文化財指定)では東京からこの日のために来宅された片岡様ご夫妻が歓待してくださる。外部の赤のベンガラと白い窓枠が特徴的。室内は診察室、待合室が昔そのままの趣。お菓子を戴き一息ついたのち、アームストロング山荘(阿武巢山荘)へ。山荘はナショナルトラストの方達の働きでよみがえり、当日も暖炉の火入れやメープルシロップ販売などのイベントに来客も。メープルの樹液(山荘出口傍の大木からは50Lも採れるとか)を煮詰めたものを試飲。メープルプロジェクトとしてカ

ナダの工場と提携して新商品開発や、樹液採集をさせてくれる協力者の募集も行っている。室内で薪の薫りと温かさをヴォーリス製作の家具に座って味わう。最後はユニオンチャーチ。正面祭壇の後ろがガラス窓になっていて木々の色が美しい。

見学を終えて出てくると前の道をクラシックカーが駆け抜ける。旧軽に150台ほど集り、順次軽井沢のコースを走るとか。思いがけない目の保養。

さて今回の体験と2006年度アメニティレポート(p.62,63)の記事を比較してみると実に興味深い。アームストロング山荘は復活、片岡邸は健在。レポートにあるように「建物に住む」=「建物が生きる道」と痛切に感じた。

最後にこの企画にご尽力してくださった方々、特に松岡様、浅井様、片岡様に心より感謝致します。

(参加者26名)



11月の六甲山荘

2015年の一般公開も最後となりました。特別公開の余波でしょうか、公開日5日間で67名の来場者がありました。平年とくらべてあまり寒くなく、スタッフは楽しかったと思います。

28日には大掃除をしました。これについては前ページでご報告していますが、大勢でにぎやかに楽しい一日でしたよ。



大掃除・ちょっと一息

六甲山荘・冬の作業

2月1日(月)
29日(月)

冬の休館中も六甲山荘では作業を行います。雨戸をあけて風を通し、公開中にはしにくい作業をします。ぜひご参加ください。少々寒いですが、体を動かしていると大丈夫！温かいお昼ごはんも用意します。

おいでになれる方はご連絡ください。

ヴォーリス六甲山荘 2015年の実績

2015年の六甲山荘の実績は以下のとおりです。

| | |
|---------|--------|
| 公開日数 | 82日 |
| 来場者数 | 1,385人 |
| 一日平均 | 16人 |
| スタッフ | のべ252人 |
| スタッフ参加者 | 49人 |

来場者数はとても多かったです。これは秋の特別公開に西田光男さんの作品展が同時開催されたことと、マスコミにとりあげられたのが大きかったと思われます。大勢の方に六甲山荘の良さを知ってもらえるのは嬉しいですね。

ただ昨年について今年もスタッフのやりくりには苦労しました。スタッフの一日平均は約3人ですが、実際には2人という日が33日もありました。受付、ガイド、販売、喫茶を担当するには最低3人はほしいところです。またスタッフのなかには10回以上参加という方が7人おられます。一部の方に負担がかかりすぎるのも心配なところです。

どうぞ六甲山荘のスタッフにおいでください。仕事の内容は決してむずかしくありません。マニュアルも用意しています。初めてでもできる仕事です。あなたのご参加お待ちしております！

募金のご報告～10月11月

10月、11月に次の方々から募金をいただきました。ありがとうございました。(敬称略)

*文化遺産継承基金

《10月11月合計 61,650円 2015年度累計 1,817,228円》

アメニティ・レポートの原稿募集

5月の総会にあわせて「アメニティ・レポート2015」を発行します。そのなかの皆さんの投稿欄「会員の声」への原稿を募集します。ふだん思っていること、最近読んだ本、見た映画、腹のたつこと、笑ったこと・・・なんでも結構です。友だちにおしゃべりするような気軽な気持ちで文章にしてお寄せください。

字数 400字前後 締め切り 3月末日
FAXでもメールでも郵送でも、事務局までお送りください。

皆さんの原稿お待ちしております。

特別陳列「図面にみるヴォーリスの学舎」

関西学院から届いた案内です。関西学院大学博物館では年明けから「新天地・上ヶ原に馳せた夢」と題した展示をされますが、特集陳列として上ヶ原キャンパスの建物図面が展示されます。一粒社ヴォーリス建築事務所所蔵の図面、スケッチです。散歩がてら覗いてみてはいかがでしょうか。

期間 2016年1月6日(水)～3月26日(土)

期間中展示替えがあります。

場所 関西学院大学博物館(上ヶ原キャンパス時計台2階)

時間 午前9時半～午後4時半(入場は4時まで)

休館日: 日曜日、1/11、2/1～2/6、2/11、2/29

入館無料

リーフレットを同封しました

このアメニティ便りと一緒にリーフレットをお送りしています。これはお知り合いに協会のことを宣伝していただく時にお使いください。リーフレットは一番手近な協会の案内書です。どうぞご活用ください。

もっとお入用の場合は、ご連絡くださればお送りいたします。

ガラス瓶をご寄付ください

3月になると甘夏のマーマレードをつくります。それにそなえてガラスの空き瓶を求めています。マーマレードをいれる小ぶりな瓶がありましたら、ご寄付いただけませんか。手許にあるという方はご連絡ください。受け渡しについてご相談させていただきます。



タイ・チェンマイ YMCA からのクリスマス・カード

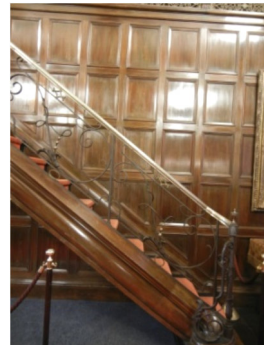
英国ナショナル・トラストの冊子

アメニティ 2000 協会は 2002 年から 7 回にわたって英国ナショナル・トラスト（スコットランドとアイルランドをふくむ）を訪問してきました。その旅で訪れたプロパティを紹介する冊子を制作中です。ナショナル・トラストについて研究されている 穎原澄子さん（千葉大学大学院准教授）と 山本真紗子さん（東京工業大学博士課程）からも文章をよせていただきました。



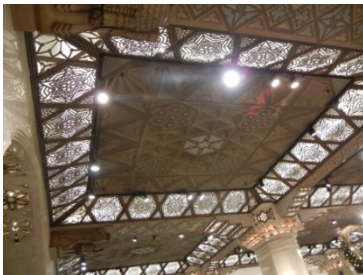
談話室の壁面タイル

綿業会館



談話室の階段（旧乾邸によく似ている）

心齋橋大丸



1階天井の装飾



入口上部のレリーフ